

## 令和6年度入試口頭試問

政治・経済の教科書に示されている以下の項目について【準備のポイント】を参考にして調べ、理解し、説明できるようにしてください。

### 【過去から現在まで息づく「政治・経済」キーワード一覧】

#### 経済学史：

ケインズ（公共事業、有効需要、『雇用・利子および貨幣の一般理論』）、社会主義

#### ミクロ経済学：

経済主体（家計、企業、政府）、市場メカニズム（需要、供給）、市場の失敗（独占、寡占、公共財、外部不経済）、独占禁止法・公正取引委員会

#### マクロ経済学：

GDP、設備投資、シュンペーター（イノベーション）、経済成長率、インフレーション、デフレーション、スタグフレーション

#### 経営学：

会社（株式会社）、取締役・経営者、M&A、持株会社、CSR、ディスクロージャー、コーポレート・ガバナンス

#### 金融：

日本銀行・中央銀行、デリバティブ、リーマンショック、三大金融政策

#### 財政：

予算（歳入、歳出）、財政投融资、国税・地方税、直接税・間接税、建設国債・特例国債

#### 社会保障：

社会保障制度（健康保険、雇用保険、年金保険、介護保険）

#### 国際経済：

OPEC、貿易（輸出、輸入、自由貿易、関税）、WTO、FTA、EU、ユーロ、ECB、ODA、経常収支、SDGs

### 【口頭試問の出題意図とキーワード選出方法】

高校の「政治・経済」の基礎的知識の確認を狙いとしています。ここでいう基礎的知識とは、大学での経済学・経営学の学びの土台となり、かつ、新聞・テレビ等で報道される経済ニュースや企業の動向の理解に役立つ「政治・経済」用語（キーワード）のことを指しています。

本学では上記の意味での「政治・経済」用語を下記の方法で選出しました。

- ① 教科書出版各社の「政治・経済」教科書・資料集に共通して掲載されているキーワードをピックアップ
- ② ①でピックアップしたキーワードの日本経済新聞朝刊での出現率を直近1年間および全期間（1981年～）の2つの期間で調査
- ③ ②の両期間で上位の出現率となったキーワードを『過去から現在まで息づく「政治・経済」キーワード』として提示

### 【準備のポイント】

口頭試問で出題されるキーワードは【キーワード一覧】の中から出題されます。「政治・経済」の教科書や資料集、用語集などを活用して調べ、理解をし、説明できるようにしてください。準備のポイントは以下のとおりです。

1. アルファベット略語については、日本語名称とキーワードの概略を説明できるようにしてください。
2. ( ) が併記されているキーワードについては、( ) 内のキーワードを使用して説明できるようにしてください。
3. 「・」でつながっている複数のキーワードについては、キーワード間の違いやキーワード間の関係について説明できるようにしてください（但し、コーポレート・ガバナンスは除く）。
4. 上記以外の単独のキーワードについては、キーワードの概略を説明できるようにしてください。